

ライダーズ・イン・ザ・スカイ 第94号

新潟県中央工業高校（旧三条工高）山岳部OB会発行 2020.5.20

—特集—

ライダーズ・イン・ザ・スカイを歌って苦境をのりきろう

—巻頭言— 山は待っている

会長 廣瀬 守彦（H07年卒30回生）

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

私も自粛にてゴールデンウィークのいくつかの予定をキャンセルしました・・・。

感染拡大で、生活や仕事内容が大きく変わりました。登山禁止やキャンプ場の閉鎖により登山、アウトドア業界は出口の見えないトンネルに入っています。

この時をどのように乗り越えていったらいいの？『ピンチはチャンス』と考え、こんな時だからこそ、自宅では登山道具のメンテナンスや地形図の整理のなど、できることはたくさんあります。

私は先日、登山靴のソール張替え修理を出しました。

みんなで乗り越えましょう。

この事態が終息したら『巻機山の家』の修繕や登山へ行きますよう！

山は待っている。同じ目標があれば乗り切れると思います。

また皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

3月に松井先輩（H03年卒26回生）と大原スキー場から守門岳



ライダーズ・イン・ザ・スカイの思い出

顧問 齋藤 勲（S41年卒1回生）

OB会HP中の「部歌 ライダーズ・イン・ザ・スカイ」のページを開いたことがありますか。

1番から4番までの歌詞が書いてある下側に元顧問・金子達先生の斉唱の再生紐がついている。私はその存在を知った数年前から、年に何回かこのボタンを押して懐かしい金子先生の斉唱に合わせて歌っている。55年以上前の高校生時代、若く情熱があった頃を思い出し、歌に希望と元気を貰えるのだ。

現在、部歌となっているこの歌は、1965年6月守門岳山行の際に保久礼の雨のテントの中で金子先生から当時の山岳部員が教わったものだ。当日は栃堀の手前の泉から歩き始めた為、保久礼への到着は遅くなり夜中の歌唱指導となったが、新鮮な感じを受けたこの歌を熱心に覚えた。当時から数年の間はOB会の山行の際には焚火を囲みながら高歌放吟した。山で焚火がしにくくなると「巻機山の家」に泊まった夜に薪ストーブを囲んで歌い、それも縁遠くなるとOB会総会で歌うだけの歌になった。

最近では歌詞を覚えていられず歌詞カードがないと歌が出てこない。正確な音程もままならずだ。それゆえHPのこのページは老OBにはありがたい。

2012年の新潟インターハイの年、8月下旬の立山・大日岳夏山合宿に同行した時、夕暮れの雷鳥沢のテント場で部員達の度胸試しのライダーズ・イン・ザ・スカイ大合唱にも元気を貰った。周囲のテントの人達も聞き入っている方がかなりおられたので、一生懸命な歌声が何らかの感動を周囲の人に与えたようだ。

私は新型コロナウイルスが侵攻中の現在も月に数回の日帰り山行は欠かしていないが、最近では山岳団体、自治体が登山も自粛せよと言い出した。自分は単独行であるし人混みのない山の中には新型コロナウイルスはいないじゃないかと思うが、万一、遭難した際に切迫している医療関係に与えるダメージが大きく、遭難救助隊員も感染リスクにさらされるという事らしい。となれば、余裕を持った下山開始時間を決め、老人の体力相応の山を慎重に登っているしかないようだ。登山自粛の啓発文書に「山は逃げない」と書かれることが多いが70歳をとうに超えている者にとって「山に登るチャンスが逃げてゆく」と思う。

夏が近づけば小康状態になると言われているが、その間に寒冷と乾燥でウイルスが増殖しやすい冬場

への準備を整えねばならない。ピントのずれた稚拙なお上の対応は嘆かわしいが、感染の広がる関東圏、関西圏、北陸圏にお住まいのOB諸兄はどうぞ長期戦に備えて自己防衛にお勤めください。

—近況投稿— 桧原湖を歩きました

渡辺 五郎 (S43年卒3回生)

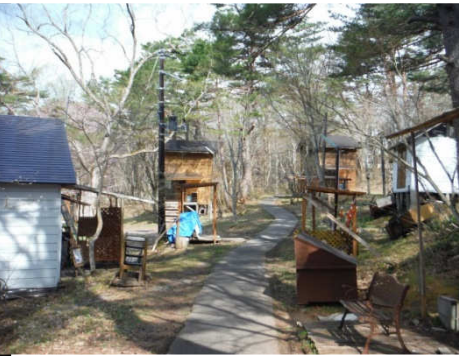
山スキーを愛する私、山に雪が降る冬は午前3時に起きてでも遠出してテレマークを楽しむ。しかし3月中旬頃からは雪が重くなるので体力的にきつく積極性がだんだん無くなってきた。

今年の冬は異常なほどに雪が降らず、2月末から北海道に緊急事態宣言が出された直後、家族を説き伏せニセコに行き、これが今シーズンの新雪滑り納めとなりました。

4月に入り今度は全国に緊急事態宣言。県を超える移動の自粛要請となり雪を求める山のアクセス道路は閉鎖。山中の宿泊施設も同じで山スキーは中止状態となった。月山スキー場も閉鎖されてしまった。しかし体力の維持が必要なので休みの日は歩くことにしている。花見は現地まで車では行かずに離れたところに駐車して歩き出す。ウォーキングも距離を延ばすようにした。

連休初日の3日は裏磐梯の桧原湖周辺を歩きました。

私の住む阿武隈の田村市から磐越道で猪苗代に行ったが、驚いた事に40分くらいの道のりで対向車はトラックが主に十数台、ガラガラの高速道。私はのんびり運転で乗用車2台に抜かれた位に空いていた。そんな中で静かな桧原湖畔を歩くことが出来ました。



↑古いバンガロー
←対岸から船で泊まりに来るバンガロー



影磐梯山



中瀬沼展望台

—近況投稿— 金子達先生に電話しました

吉田 光二 (S46年卒6回生)

4月14日、コロナ騒ぎのなかでどうしていらっしゃるのかと千葉県在住の金子達先生に電話をしてみました。

言語明瞭、懐かしい声で近況をお話をされ、お元気な様子でした。

・田舎なのでコロナに関わることなく、お昼を持って奥様と散歩に出ているとのこと。

・昨秋の台風では家の棟(ぐし)がぐじゃぐじゃになったが、それ以外の被害はなかったとのこと。

ちなみにグーグル・マップで千葉県佐倉市城644-3と検索して航空写真で見ると644の家が表示されませんが、その隣りの角の家だそうです。

ストリートビューで見るとグレーの車がある家です。「自分では見たことないけど、よくもまあ人の家を映したものだときれている」と仰っていました。お元気で良かったです。(HP掲示板より再録)

—近況投稿— 貴重？な連休

鈴木 孝一 (S60 年卒 20 回生)

吉田先生、OB の皆さま

前代未聞の連休中は、家にいる大学生の子ども達を手伝わせて、お客様が異物を落として毎日詰まるトイレを便器ごと外して異物を取り出したり、壊れた洗濯乾燥機、急に水漏れが始まった食器洗い機の復旧など、一人で持ち上げるのがしんどい物を直したりしました。

毎日の夕食は連日ホットプレートのメドレーで、焼き肉、餃子、焼きそば、お好み焼き、チーズフォンデュ、パンケーキと日替わりで作りました。

毎日、腹一杯に食べ、ビールも家なので、もういらなくなるまで飲んで(いつもそうかも)確実に大きくなった胴回り(-_-;)

尾瀬とかこんな時は混雑せず行けるのだろうか、青森の桜とか普段の連休は混雑や渋滞で行けそうもないところに行けたらなあ、と思ったりしてました。

普段ならテンデバラバラな子ども達とも一緒に過ごせる貴重な連休だったかもしれません。あっという間に終わった連休でした。

—近況投稿— 巻機山の家に行ってきました

猪熊 尚洋 (H03 年卒 26 回生)



好天に恵まれているせっかくのゴールデンウィーク、不要不急の外出自粛ということで遠くに足をのばすわけにもいかずガッカリな中、巻機山の家に行ってみました。

この前の冬は小雪だったこともあり、すっかり雪も消えてちょうど満開の桜の木々を眺めてから、更に先に進むと静かな巻機山の家に着きました。

お昼を食べてから淹れたてのコーヒーをすすりながらウグイスの鳴き声を聞いていると、先の雲天ツアーで話に挙がった巻機山の家への補修や維持のことを思い出しました。

今日まで、苦難(あくまでも自分なりの、ですが)に対峙した時には、「あの時に比べれば」と思ってやってくることができました。

「あの時」というのは山岳部員時代のことです。

山ではバテようとも、計画したルートをみんな揃って最後まで歩き通すしか道はなく、自分だけそこで止まっていたり、離脱することはできません。今にして思えば、それは僅かな期間ではありましたが逃げられない現実というものをリアルに学ぶことができましたし、その象徴として巻機山の家が自分の中にあります。

これまで管理してくれる人たちがいてくれたおかげで持ちこたえていますが、様々な理由からそれが困難になり朽ちてしまっていることは残念に感じるとともに、なんとかしたいと思うところです。

人混みに安心して出かけられる日が来るまでには、まだまだ時間がかかりそうです。なかなか思うように動けない今、天気の良い日に山の中に出かけて修繕作業というのも良いものかなと妄想しています。

そうは言っても、自分だけでは巻機山の家への修繕について何が出来るのか？具体的には何も分かりません。修繕についてアドバイスしてくれる方がいらっしやいましたら教えていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。



—近況投稿— 不摂生が身に染みます

高橋 圭一 (H05 年卒 28 回生)

吉田先生、お久しぶりです。

近況ということですが、私の勤めている会社がコロナウィルスの影響で仕事がない状況です。

このままでは、かなり厳しいと思われます。

体調面では痛風になりまして、日頃の不摂生が身にしみる年齢になりました。(でもお酒はやめていません!!)

今は苦しい時期ですが、皆さんも、お身体に気をつけてお過ごしください。

—近況投稿— 片野新太郎寄稿

片野新太郎 (H06 年卒 29 回生)

その1

自粛でどこにも行けないです。

本日、裏山に行ってタケノコを採りました。

先週、裏山に行ってタケノコを採りました。

GW、裏山に行ってタケノコを採りました。

よくよく考えたら去年と同じでした。

その2

今年、縁あって、私が勤務する栄ガス生協に母校の生徒が就職してくれました。母校からと言うことも嬉しいのですが、さらに山岳部員ということで嬉しい限りです。

その高橋泰斗君 (R02 年卒 55 回生) は、現在、慣れない大人社会で頑張っています。詳しくは後日、本人より報告があると思いますのでご期待下さい。



—雲天ツアーの報告—

総会の中で生まれた企画

事務局次長 猪熊 尚洋 (H03 年卒 26 回生)

昨年 12 月、新潟県央工業高校の総合トレーニング場で開催された OB 会総会に参加しました。

この OB 会総会は自分が高校生の当時は巻機山の家でした。薪ストーブで暖を取りつつ、酔っ払った OB やカメムシにさいなまれながら薄暗い小屋で談笑したのも良い思い出です。

それから開催場所は地元に移り、大崎山、学校の全天候型練習場、下田地区の「かわせみ」、学校の合宿所、学校の総合トレーニング場など色々な場所で開催されてきました。どこで開催されようとも総会は総会に違いはなかったものの、自分の記憶の中では OB 会総会と巻機山の家はセットになっており、その時期になると「巻機山の家はどうなっているかなあ」と思っていました。

また、巻機山といえば雲天もセットになっています。山に入る時には顧問の先生が雲天に寄っている間、「いよいよ山だなあ」という気持ちで待っていた記憶がありますが、自分自身は新・旧どっちの雲天にも中に入ったことがなく、雲天とはどんなところなのか？一人で予約して泊まるにも山から離れてしまっていることもあり、それはできずにいました。

総会後の歓談中、ぼんやりと「雲天に行ってみよう」と、まったくの個人的希望を話題に出してみました。巻機山の家や雲天と接点を持たない自分にとって山岳部や巻機山の家縁の深い方々と共に歩くことができれば行きやすいかな…という調子のいい腹づもりもあったのです。

この話題について、思いのほか皆さんが「いいね！」と意気投合してくれて、やってみよう！となったものの、参加人数や予算、時期的にも天候や道路状況など不確定要素が多く、まずは有志で試験的にという感じで催行してもらいました。

そうして実現した雲天ツアー。記録的な少雪は幸か不幸かは定かではありませんが、ツアーでの時間は「雲天に行ってみよう」という自分の希望を十分に満たすどころか、とても良いひと時を得られました。

その頃、コロナウィルスのことは耳にしていたものの、遠い国の出来事のように捉えていたものです。それからいくらしないうちに、あっという間にコロナ騒ぎが大きくなり 5 月に入った今も終息の

見通しが立たないままに世界中の人々が混沌とした時間を強いられています。

今まで当たり前できていたことが当たり前ではなかったということ、こんなキッカケで思い知らされるとは思ってもみませんでした。

今号の特集テーマは「ライダース・イン・ザ・スカイを歌って苦境をのりきろう」です。部歌でもあるこのライダース・イン・ザ・スカイという歌は、総会の時に斉唱する歌です。雲天ツアーの時にもみんなで斉唱しました。

自分にとっては年に一度しか耳に入らない歌ですが、この斉唱でそこに集まったOBが世代を越えて、若いも若きも久しぶりの再会を確認できる歌だと思います。

またみんなで集まって斉唱できる日は訪れるのか、未だ先は見えない状況ではあるものの、今は日々の予防に努めてこの難局を乗り切っていきたいと願っております。



雲天ツアーの思い出

事務局長 川村 浩貴 (H19年卒 42回生)



雲天ツアーというと、議題にあがった時は何人かの方には好印象という感じ。私も久しぶりの雲天は楽しそうだなと思っていました。しかし、中には一泊するのは時間的に厳しい、雲天に行ったことがなく思い出がない、という意見もありました。冬山合宿では必ず雲天でそばを食べるものと思い込んでいたもので、雲天に行ったことのない世代がいるということに驚きました。

当日の参加人数は現地集合の人も合わせて12人。三条から出発する人は学校に集まり乗り合わせて向かいます。

私の同期と、歳の近い先輩も参加していたので、学生の時の山行に行く前のような懐かしい雰囲気を感じました

雲天に到着してまず思ったのが雪の少なさ。1月の積雪といえば電線まで届くほどあったと記憶していましたが、20センチ程しかありません。やはり記録的な小雪の影響は大きいようです。

雲天の運営をしているご夫婦に出迎えられ中へ。久しぶりに見る大きな囲炉裏をみんなで囲み、日程の打ち合わせや、巻機小屋の歴史について聞いたり、談笑したりして過ごしました。

囲炉裏は心地よい暖かさで炭の香りもあり、昔ながらの風情がありました。家の中をカメムシが飛んでいるのもお馴染みです(笑)。

そうこうしているとご主人が竹串に刺した塩の盛ってある鮎を持ってきて囲炉裏の炭火の周りに立てて並べていくではありませんか！炙り焼きにするのでしょうか、そのような光景を見たことがなかったので興味津々。これがとても旨そうに見えるのです。

風呂も入り待ちに待った夕食。猪肉の牡丹鍋、先ほど囲炉裏でじっくり焼かれた鮎。他にも採れたての山菜やきのこ、地酒にビールとすべて絶品でした。普段食べることのない食材も多く、雲天での夕食はこのツアーの目玉のひとつでもあると思います。

宴会では巻機小屋を今後どうするかの話し合いもありましたが、とりあえず現状を見てから考えようということになりました。

翌朝、朝食を食べてから出発です。

広瀬会長が持参された(糊モチヅキ)MSRのスノーシューを装着して雪道に臨みます。私は今回初めてスノーシューを使うので、トレッキングをするのが今回のツアーの一番の楽しみでした。しかも今回は天候に恵まれ絶好のトレッキング日和に心が踊ります。

景色を見ながら雪を踏む感触を楽しみつつ、OBの皆さんと会話しながら和気あいあいとトレッキングするのも新鮮な感じがして良いものです。

1時間程で巻機小屋に到着。十数年ぶりに来ました。足跡ひとつない雪の原にぽつんと建っているのが印象的です。小雪のおかげで玄関も埋まっています。

小屋は二階のベランダのガラス、ストーブのガラスが割れ、外の手洗い場も底が抜けているなど、老朽化が進んでいるようです。

雲天に帰ってから昼食をいただきました。名物のざるそばと天ぷらです。学生の時いらいのおいしいざるそばでしたが、量も変わらず大量のそばが用意されていました。腹が苦しくなるほどの満腹。これもお馴染みです。

食後の休憩をして、一向は帰路に着きました。

雲天ツアーは私にとっては十数年前の思い出を懐かしんだり、スノーシューのような新しい体験ができたりと普段と違った時間を満喫できてとても充実した時間でした。OB会メンバーの方々との交流や歳の近い仲間も居て話も弾み、たまにはこんな集まりも良いなと思いました。

来年もこのツアーをやるかは未定ですが、興味を持った方がいたらぜひ次回参加してみませんか？

久しぶりという方は懐かしさがありますし、雲天に来たことがないという方も損はありません。料理だけでもとても美味しいものばかり！歳の近いOB仲間と一緒にだと、にぎやかでなお楽しいものになると思います。

今はコロナウイルスの影響で外出も自粛する日々ですが、少しずつ終息に向かっていきます。もう少しの辛抱です。それまでウイルスに負けず元気に過ごされるように祈っています。

概略 1月25日(土) 県央工集合 13:30~雲天集合 16:00~夕食・懇親会~入浴~就寝

1月26日(日) 朝食~スノーシューで巻機山の家~雲天で昼食~県央工解散

参加者

長谷川一良 (S45年卒)	吉田光二 (S46年卒)	鈴木孝一 (S60年卒)	徳橋弘倫 (H02年卒)
猪熊尚洋 (H03年卒)	広瀬守彦 (H07年卒)	小柳将人 (H11年卒)	斉藤圭太 (H17年卒)
川村浩貴 (H19年卒)	大山和俊 (H19年卒)	宇佐美博康 (元顧問)	久住公彦 (顧問)



11月のOB会弥彦山登山・総会と1月の雲天ツアーの写真をHPのアルバムにアップしました。

いずれの写真もH17年卒の斉藤圭太さんの撮影で楽しいものばかりです。

下記のURLを入力してホームページを開き、「会員のひろば」をクリックしてIDとパスワードを入力し、「OB会アルバム」を開きます。見たい写真をクリックすると拡大します。

★2019年OB会アルバム
★雲天ツアーアルバム

祝 HPの「会員のひろば」の投稿がNo.1000 を超えました！ 記念すべきNo.1000 は渡辺五郎さんの投稿でした。

OB会ホームページは随時更新しています

「会員のひろば」にアクセスするためのID、パスワードは下記のとおりです。
念のため部外秘でお願いします。

URL <http://mtob.sakura.ne.jp/>

ID:**** / パスワード:****



ホームページQRコード

掲示板には部の山行報告やOBの登山報告などが投稿されています。皆さんも遠慮なく投稿してください。会員名簿にもアクセスできます。

前号以降の「会員のひろば」への投稿項目の紹介

- [958] 11/23 粟ヶ岳 斎藤 勲 E-MAIL - 19/11/24(日) 16:11 -
- [959] ライダース・イン・ザ・スカイ No.93 を発送しました 吉田光二 - 19/11/25(月) 19:37 -
- [960] 12/1 白山 斎藤 勲 E-MAIL - 19/12/2(月) 19:37 -
- [961] 12/9 米山 斎藤 勲 E-MAIL - 19/12/10(火) 20:44 -
- [962] 姥ヶ岳 (1669.7M) 渡辺五郎 E-MAIL - 19/12/15(日) 17:58 -
- [963] 12/16 粟ヶ岳 斎藤 勲 E-MAIL - 19/12/17(火) 19:17 -
- [964] 冬山報告ありがとうございます。 吉田光二 - 19/12/25(水) 10:27 -
- [965] 12/29 白山 斎藤 勲 E-MAIL - 19/12/30(月) 19:20 -
- [966] 西大巓 (1982M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/1/5(日) 17:46 -
- [967] 1/6 弥彦山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/1/7(火) 19:26 -
- [968] 1/11 米山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/1/12(日) 19:10 -
- [969] 森吉山 (1454M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/1/14(火) 21:18 -
- [970] 1/18 白山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/1/19(日) 19:35 -
- [971] 湯殿山 (1500M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/1/25(土) 21:16 -
- [972] OB会の雲天ツアー 吉田光二 - 20/1/26(日) 20:37 -
- [973] Re:OB会の雲天ツアー 猪熊 尚洋 E-MAIL - 20/1/27(月) 23:17 -
- [974] 1/27 弥彦山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/1/28(火) 20:01 -
- [975] OB会の雲天ツアーその2 吉田光二 - 20/1/30(木) 12:55 -
- [976] 2/3 米山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/2/4(火) 19:32 -
- [977] 矢筈森 (1673M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/2/9(日) 11:07 -
- [978] 鉄山 (1709.3M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/2/11(火) 18:42 -
- [979] 懐かしい、栗守門 渡辺五郎 E-MAIL - 20/2/12(水) 21:09 -
- [980] 2/12 白山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/2/13(木) 20:08 -
- [981] アルバムに写真をアップしました 吉田光二 - 20/2/15(土) 20:59 -
- [982] 西大巓 (1982M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/2/22(土) 19:03 -
- [983] 2/21 米山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/2/22(土) 19:29 -
- [984] 今年初めての弥彦山登山 吉田光二 - 20/2/24(月) 20:57 -
- [985] 雪割草 吉田光二 - 20/2/29(土) 20:47 -
- [986] 3/2 白山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/3/3(火) 19:10 -
- [987] ニセコ/羊蹄山 渡辺五郎 E-MAIL - 20/3/8(日) 10:13 -
- [988] 3/7 弥彦山・裏参道 斎藤 勲 E-MAIL - 20/3/8(日) 19:15 -
- [989] 姥ヶ岳 (1669.7M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/3/15(日) 10:23 -
- [990] 3/15 鋸山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/3/16(月) 19:14 -
- [991] 3/26 鋸山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/3/27(金) 19:26 -
- [992] 3/30 弥彦山・鉢前沢 斎藤 勲 E-MAIL - 20/3/31(火) 19:13 -
- [993] 4/4 鋸山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/4/5(日) 19:16 -
- [994] OBの来訪 吉田光二 - 20/4/8(水) 13:18 -
- [995] 学校の桜は… 吉田光二 - 20/4/8(水) 13:44 -
- [996] 4/7 鋸山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/4/8(水) 19:20 -
- [997] 箕輪山 (1718.4M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/4/11(土) 17:33 -
- [998] 金子達先生の様子 吉田光二 - 20/4/14(火) 15:20 -
- [999] 4/17 粟ヶ岳 斎藤 勲 E-MAIL - 20/4/18(土) 19:24 -
- [1000] 阿武隈に春が来た！ 渡辺五郎 E-MAIL - 20/4/29(水) 18:05 -**
- [1001] 近況をお寄せください 吉田光二 - 20/5/1(金) 20:11 -
- [1002] 5/1 鋸山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/5/2(土) 19:16 -
- [1003] 矢大臣山 (964.7M) 渡辺五郎 E-MAIL - 20/5/5(火) 18:50 -
- [1004] 投稿1000回目 渡辺五郎 E-MAIL - 20/5/5(火) 21:36 -
- [1005] 巻機山の家に行ってきました 猪熊 尚洋 E-MAIL - 20/5/7(木) 17:37 -
- [1006] Re:投稿1000回目 OB会事務局 E-MAIL - 20/5/7(木) 17:50 -
- [1007] 5/8 鋸山 斎藤 勲 E-MAIL - 20/5/9(土) 9:32 -
- [1008] Re:5/8 鋸山 OB会事務局 E-MAIL - 20/5/9(土) 10:06 -
- [1009] Re:5/8 鋸山 斎藤 勲 - 20/5/9(土) 20:04 -

ライダーズ・イン・ザ・スカイ eメール版も随時に

随時、メール通信を配信しています。配信登録をお願いします。
携帯電話の設定を確認して「webmaster@mtob.sakura.ne.jp」からの受信を許可してください。



登録用QRコード

以下はNo.1000 前後の投稿ドキュメントです

【1004】投稿 1000 回目 渡辺五郎 - 20/5/5(火) 21:36 -

今、気が付きました。私の投稿、「阿武隈に春が来た」が 1000 回目。

おめでとうございます……誰に？

これは OB 会のホームページにです。私にはありません。皆さん、どしどしと投稿して、記念のナンバーの投稿者になってください。

【1006】Re:投稿 1000 回目 OB 会事務局 - 20/5/7(木) 17:50 -

投稿が 1000 を超えるまで増えるとは、開設当初は思ってもみませんでした。OB 諸氏の投稿の積み重ねの賜物です。

ここまで多数の投稿をくださった皆様に感謝致しますと共に、これからもよろしくお願い申し上げます。

【1007】 齋藤 勲 -20/5/8 (金)

1000 回目の記念すべき投稿は、渡辺五郎氏の「阿武隈に春が来た！」の心躍る明るい記事だった。1 回目はどんな内容だったか「掲示板」を遡ってみた。No.38「同窓会東京支部総会のお知らせ」(2011. 1. 17 吉田先生)が最も先頭でそれ以前のものを見るのが出来なかった。残念。

10 年で 1000 件 (年間約 100 件)。これからも多くの皆さんからの投稿を楽しみにしています。

【1008】Re:5/8 OB 会事務局 - 20/5/9(土) 10:06 -

いつもご投稿ありがとうございます。事務局で掲示板の管理を担当している 26 回生の猪熊です。1 回目はどんな内容だったかについて……ですが、私の記憶するところでは最初の方は掲示板の動作確認のために自分で投稿と削除を繰り返していたため、現在は残っていないのではないかと推測します。設置した当時は、ここまで長期間利用いただけることも考えておらず、ネットの情報を参考にチョコチョコに設置したという経緯がございます。

ただ No.38 以前の記事が全部動作確認用だったかというところでもなく、以前の記事で「過去ログ」というところに移動したものもあります。

「過去ログ」というのは、この掲示板に搭載されている機能のひとつで投稿が大量になった時に古い記事を別のところに移動するというものです。

掲示板の上部に茶色のメニューがありますが、右から 2 番目に「過去ログ」という文字があります。それをクリックして表示される画面で「最新」という文字をクリックすることで、移動された古い記事を見ることができるようになっております。

掲示板を設置して 10 年ほど、投稿数も 1000 を超えましたが体感的に遅いと感じることもないので、これまでいただいている投稿を過去ログに押し込むこともしていませんが、そういった機能もある……ということの説明する良い機会と考えて返信をさせていただきました。これからもよろしくお願い致します。

【1009】Re:5/8 齋藤 勲 - 20/5/9(土) 20:04 -

なるほど、初期の頃の投稿は「過去ログ」に仕舞われていたのか。私が投稿した記事もいくつかあり、当時のことを思い浮かべつつ懐かしみながら読みました。猪熊さん、ありがとうございました。

編集後記

- 1 例年ならば現役の部活報告になるはずですが、学校は長期の休業処置、部活は禁止。
- 2 雲天ツアーの成功で気をよくして、5 月に小屋掃除ツアーをと考えたものの「自粛要請」。
- 3 ソーシャル・ディスタンスや故郷を離れている OB 諸氏には「帰ってくるなコール」やらで人々の間隔に加えて心の間隔まで広がりそうです。
- 4 ここは、昭和 40 年くらい 55 年間の長きに渡って OB を繋いできた部歌「ライダーズ・イン・ザ・スカイ」の出番と、本号を発行することにしました。
- 5 メール通信で近況の投稿を呼びかけました。投稿いただいた皆さん、ありがとうございました。OB の皆さん、今回のように投稿や連絡を取り合ってみませんか。いつでもどんな形でも歓迎です。

蛇足：マスクは VFE (生体ウイルスろ過効率) が記載されたものを。消毒はエタノール濃度 70~80% のものを。エタノールが手に入らなければ次亜塩素酸水が良いですよ。 (マスクと消毒生活 12 年の吉田光二)

発行者：広瀬守彦 H07 年卒 三条市下須頃 323 (株)モチヅキ内
編集者：吉田光二 S46 年卒 090-4943-5927